

## スズキ、2015年3月期決算を発表

— 売上高3兆円回復するも6期振り減益、年間配当は配当性向15%を目途に3円増配 —

### 1. 2015年3月期決算の業績概況

当期の連結売上高は3兆155億円と前期に比べ772億円(2.6%)増加し、リーマンショック後に落ち込んでいた売上高を3兆円まで回復することができました。国内売上高は四輪車の減少により1兆946億円と前期に比べ381億円(3.4%)減少しましたが、海外売上高が、インドでの四輪車の売上増加等により1兆9,209億円と前期に比べ1,153億円(6.4%)増加しました。

連結利益の面では、営業利益はインドネシア、タイでの減益をインドでの増益でカバーしたものの、国内外での営業諸費用の増加等により1,794億円と前期に比べ83億円(4.4%)の減少となりました。経常利益は1,943億円と前期に比べ35億円(1.8%)の減少、当期純利益は少数株主利益の控除が増加したことなどにより969億円と前期に比べ106億円(9.9%)の減少となりました。

なお、期末配当金につきましては、前期に比べ減益ではありますが、連結配当性向15%を目途に1株につき前回予想値から3円増配し、17円(前年期末配当金14円)とさせていただきます。この結果、年間配当金は27円となり、前期に比べ3円の増配となります。

### 2. 各セグメントの状況

四輪車事業につきましては、国内売上高は「ハスラー」が2015年次RJCカーオブザイヤー他、多くの賞を受賞するなどお客様にご好評を頂き、また、ガソリン車No.1燃費を達成した新型「アルト」、広さ、低燃費、使いやすさを追求した軽ワンボックス「エブリイ」、「エブリイワゴン」の発売など商品力を強化し拡販に努めてまいりましたが、消費税率引上げに伴う反動減もあり、前期を下回りました。海外売上高はインドでの増加等により前期を上回りました。この結果、四輪車事業の売上高は2兆7,020億円と前期に比べ863億円(3.3%)増加しました。営業利益はインドでの増益があったものの日本やインドネシア、タイでの減益等により1,718億円と前期に比べ75億円(4.2%)減少しました。

二輪車事業につきましては、売上高はアジアでの販売減少等により2,505億円と前期に比べ161億円(6.0%)減少しました。営業利益は前期の1億円から営業損失7億円となりました。

特機等事業の売上高は欧州や北米での船外機の売上増加等により630億円と前期に比べ70億円(12.5%)増加しました。営業利益は83億円と前期並みとなりました。

所在地別の営業利益につきましては、アジアがインドネシア、タイなどでの減益をインド四輪でカバーし816億円と前期に比べ222億円(37.3%)増加しましたが、日本が国内外の販促強化や品質費用の増加等により907億円と前期に比べ438億円(32.6%)減少しました。

### 3. 次期の連結業績予想

次期は国内軽四輪の需要減が想定されるものの、インドをはじめ海外での販売増加等により当期に比べ増収増益を見込みます。当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、以下の連結業績予想を達成すべく事業活動を展開してまいります。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆1,000億円	(前期比 2.8%増)
営業利益	1,900億円	(前期比 5.9%増)
経常利益	2,000億円	(前期比 2.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100億円	(前期比 13.6%増)
(為替レート) 1米ドル=115円、1ユーロ=125円、1インドルピー=1.85円、100インドネシアルピア=0.90円、1タイバーツ=3.50円		

以上